

令和7年度第1回長浜市環境審議会 要点録

1. 日 時：令和7年9月25日（木）午後1時30分～午後3時

2. 場 所：長浜市役所本庁舎1階 多目的ルーム3、4

3. 出席者：委 員 13名出席、6名欠席

事務局 7名

その他（政策デザイン課） 3名

傍聴者 1名

4. 会議事項

- ・長浜市環境年次報告書について

事務局：＜資料1に基づき説明＞

【質問・意見なし】

- ・再エネ導入促進施策の再エネ促進区域の設定について

事務局：＜資料2、3に基づき説明＞

委 員：屋根の上を進めるということで補助が出やすくなり、促進にあてはまるとわかったが、既築が新築かということで、どれくらいポテンシャルがあるか、実際に（屋根の上に）のせてもらえるかが決まってくると思うが、そこは整理できているという理解でよいのか。

事務局：今回設定するのは屋根の上ということで、新築、既築どちらでもよいとしていますが、今回、促進区域を設定する中で、当然、市の目標を達成するために、どれくらいの区域が必要でどれくらいの数を設置すべきなのか考えていく必要があります。実際のところ、厳密に既築、新築で、それぞれでどれくらいというデータを整理できているわけではなく、今回の提案では、現在ある建築物の屋根上に設置できればと考えています。

議 長：公共の建物の屋根もポテンシャルになると思うが、長浜市関連の公共施設の屋根への太陽光発電の導入について、何か目標などを考えているのか。

事務局：数年前から情報の整理をしており、本庁や学校など多数の公共施設があり現在も情報整理に努めているところです。目標値としては、温暖化の計画の事務事業編という公共施設のところに市の施設について定めたものはあるのですが、もう少し意欲的な内容で考えていきたい、今後、情報収集して決めていきたいところです。ただ、古い建物も多く、いろいろな条件の中、難しいところもあるので、慎重にきちんとできるところを精査しているところです。

委員：補助金の制度について、高気密、高断熱の家に太陽光パネルを乗せると電気代もすごく変わってくると思うので、そういったものとセットにすると手厚くなるのでは。そうすると、電気も使わなくなると CO2 の削減にもつながるし、太陽光パネルをのせようかという意欲もわいてくるのではないかと思うので、一度考えてみては。

事務局：高気密、高断熱にしない中では、エアコンを使ってもどんどん、電気を使ってしまうので、きちんと高気密、高断熱にするのはとても重要と思います。現状では、滋賀県がその分野に対して手厚い補助をしており、国の制度を活用して、期間限定ですが家庭向けの補助も作られているので、県の取り組みも見つつ、役割分担をしながら、市として必要なことをやっていきたいと考えています。

委員：現在はペロブスカイト太陽電池など壁置きのものでできている。そうすると集合住宅とかで利用されると思うが、今回はあくまでも戸建ての住宅の屋根置きという理解なのか、ほかの部分も含めてなのか。

事務局：ペロブスカイト太陽電池等という技術が開発され、壁にうすくフィルム状のものが貼れるようになり、以前は太陽光発電というと、太陽光パネルを屋根にのせるというイメージでしたが、今は壁に貼るなど、いろいろなところで発電できる技術がでていると聞いていて、今後も情報収集をしていくつもりですが、今回は区域設定ということで、壁もとなってくると考え方の整理が難しくなるため、地図上で見たときのどこかという話を促進区域の考え方ととらえ、設定しています。壁置きなど技術の進歩などについては今後の状況をふまえて、適宜考えていくことになります。

・委員改選 等 について

事務局：＜任期、定数、委員推薦について、資料 4 に基づき説明＞

＜小委員会について、資料 4 に基づき説明＞ゼロカーボンについては、国も含めて日進月歩変わっている状態。政策を進めていくうえで専門的な知見を持たれた方に、ご意見を伺いながら政策を進めていきたいため、小委員会を設定して、詳細を定めていきたいことを説明。詳細は次回の審議会で説明＞

【この件についての質問・意見なし】

5. その他

・長浜市総合計画の策定に向けて

政策デザイン課：＜資料 5－1， 5－2 に基づき説明＞

委員：最後の長浜市総合計画策定に向けた意見や提案について、期日はあるのか。

政策デザイン課：特に期日は設けていませんが、今年度中、3 月末までに意見がいただければと考えています。

・「クビアカツヤカミキリ」について

事務局：＜９月の広報で組回覧した資料に基づき下記について説明＞

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」が今年の７月に長浜市で確認された。平成３１年から既に他府県で確認されていた。人体には影響はないが、ウメ、サクラなどのバラ科の樹木に卵を産み、木を枯らしてしまう。何百本と桜並木を伐採している自治体もある。成虫は５～８月に発生するため、今は成虫が出る時期でないが、フラス等が見つかった場合は、知らせしてほしい。

いつ、どこで被害が出てもおかしくない状況であり、長期に対策をしていく必要がある。初期段階は周知、パトロールが必要で、来年については、県と連携を取りながら、考えていく予定。今後の方針は次回の審議会で説明する。

委員：木をみたら、肉眼でもわかるのか。見るからに木全体が枯れているものがある。

事務局：普通のカミキリがついていても、木が枯れることもあります。フラスの状態ですぐわかる場合と、樹木匠が見てもわからない場合がありますし、フラスが出ていても、在来種のものの場合もあるので、気になるものがあれば、知らせしてほしいです。ただ、まん丸の孔は違うことが多いです。（クビアカツヤカミキリの孔は楕円形）

必要な情報をホームページ等でも知らせていきます。